

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第2学年	
教科等名	作業学習（リサイクル班）	グループ名	1 類型	
ねらい	(1)回収から納品までの作業工程を覚え、決められた作業をする。 (2)状況に応じた、報告・相談を行い、他者に気持ちを表現する力を身に付ける。 (3)役割や作業手順に見通しをたて、落ち着いて作業する態度を養う。			
担当教員	○中熊 康生			
年間授業時数	210 単位時間			
使用教科書	なし			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい（評価の観点） □指導の工夫	備考
4 5 6 7 9	リサイクル班の作業を確認しよう 状況に応じた報告をしよう	90	○活動内容の確認 ◆作業内容・準備・日誌の記入・発表方法・片付けを教師と一緒に行うことができる。 ○得意な方法で、状況に応じた返事・挨拶・報告を行うことができる。 ◆自己の方法で、状況に応じたコミュニケーションを図ることができる。 ◆身振りや手振り等で、「できました」「手伝ってください」などの報告や相談ができる。 □自己決定・自己選択をしやすい言葉掛けをする。 ○リサイクル作業工程や手順の習得 作業内容①：缶・ペットボトルの回収、洗い、分別、圧縮、納品 作業内容②：牛乳パックのリサイクル 作業内容③：ペットボトルキャップの仕分け 作業内容④：粗大ごみの解体、分別 ◆自分の役割を理解して、決められた時間作業することができる。 □作業工程を分け、それぞれの活躍があることで、成果に繋がることを視覚的に示す。 □個人目標、達成目標を明確にし、成果を確認する。	
10 11 12	羽ばたき祭に向けて準備をしよう	80	○羽ばたき祭準備 ◆身近な支援者となる教員とお互いの相互理解のうえで催しものを考え、準備することができる。 ◆看板・ポスター・グッズの作成 □作業を端的具体的に示し、分担して作業をしやすい環境を設定する。 □一人一人の役割を明確にし、始まりや終わりを分かりやすくする。	
1 2 3	一人でやってみよう 一年を振り返ろう	40	○リサイクル作業 ◆少ない支援でできる限り、一人で気持ちを安定させて作業することができる。 □少ない言葉掛け、少ない支援を心掛け、見守る時間を設けるようにする。 ○一年間のまとめ ◆一年間を振り返り、「頑張ったこと」を発表することができる。 □空き缶処理の総額、活動の様子をスライドショー等で示す。	

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第2学年	
教科等名	作業学習（リサイクル班）	グループ名	2 類型	
ねらい	(1)回収から納品までの作業工程を覚え、決められた作業をする。 (2)状況に応じた、報告や相談を行い、他者に気持ちを表現する力を身に付ける。 (3)役割や作業手順に見通しをたて、落ち着いて作業する態度を養う。			
担当教員	○中熊 康生			
年間授業時数	210 単位時間			
使用教科書	なし			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい（評価の観点） □指導の工夫	備考
4 5 6 7 9	リサイクル班の作業を確認しよう 状況に応じた報告をしよう	90	○活動内容の確認 ◆作業内容・準備・日誌の記入・発表方法・片付けを行うことができる。 □状況に応じた言葉を選んで周囲の人と関わる場面を設定する。 ○状況に応じた返事・挨拶・報告を行うことができる。 ◆状況に応じたコミュニケーションを図ることができる。 ◆「できました」「手伝ってください」などの報告や相談ができる。 □自己決定・自己選択をしやすい言葉掛けをする。 ○リサイクル作業工程や手順の習得 作業内容①：缶・ペットボトルの回収、洗い、分別、圧縮、納品 作業内容②：牛乳パックのリサイクル 作業内容③：ペットボトルキャップの仕分け 作業内容④：粗大ごみの解体、分別 ◆自分の役割を理解して、決められた時間作業することができる。 □それぞれの活躍があることで、成果に繋がることを視覚的に示す。 □個人目標、達成目標を明確にし、成果を確認する。	
10 11 12	羽ばたき祭に向けて準備をしよう	80	○羽ばたき祭準備 ◆身近な支援者となる教員とお互いの相互理解のうえで催しものを考え、準備することができる。 ◆看板・ポスター・グッズの作成 □作業を端的具体的に示し、分担して作業をしやすい環境を設定する。 □一人一人の役割を明確にし、始まりや終わりを分かりやすくする。	
1 2 3	一人でやってみよう 一年を振り返ろう	40	○リサイクル作業 ◆少ない支援でできる限り、一人で作業することができる。 □少ない言葉掛け、少ない支援を心掛け、見守る時間を設けるようにする。 ○一年間のまとめ ◆一年間を振り返り、「頑張ったこと」を発表することができる。 □空き缶処理の総額、活動の様子をスライドショー等で示す。	

令和5年度東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第2学年	
教科等名	作業学習(窯業班)	グループ名	1 類型	
ねらい	(1)繰り返し行う中で挨拶、返事、報告等働く時に必要な力を自分なりに身に付ける。 (2)補助具や道具を安全に使用し、一定時間集中して作業することができる。 (3)見通しを持って作業を続け、完成の喜びや作業をする達成感を知る。			
担当教員	○中村 薫			
年間授業時数	210 単位時間			
使用教科書	なし			
月	単元名	時数	○学習内容 ◆ねらい (評価の観点) □指導の工夫	備考
4	窯業の作業について知ろう	26	○自分の分担を理解し丁寧に製作をする力	
5	分業の製品作りに慣れよう	43	※ <ul style="list-style-type: none"> ・粘土再生・成形作業(砕き、粘土作り、型起こし) ・素焼き作業(やすり、スポンジ) ・釉薬がけ作業(釉薬選定、釉かけ) ・清掃・販売準備・販売反省 	
6				
7	製品作りを振り返って	6	◆自分の担当工程を知り、作業の流れに見通しをもつ。 ◆挨拶、返事、報告を自分なりに相手に伝えられる。 ◆みんなと協力して作業、清掃、片付けに取り組む。 □具体的な場面を通じて挨拶や返事、報告の仕方を練習する。 □一人ひとりの実態に合わせた道具、補助具を作成し調整する。 □道具や部材の置き場所を視覚的に分かりやすくする。	
9	新しい製品を作ろう	26	○周囲と言葉を掛け合い協力しての製品製作	
10	文化祭に向けた製品作り	31	※内容同上	
11			◆自分の担当工程を知り、集中して取り組める。 ◆挨拶、返事、報告、連絡、質問を、場に応じた言葉で行うことができる。 ◆みんなと協力して作業、清掃、片付けに取り組む。 ◆次回の課題を知り、課題を解決しようとする気持ちを育む。 □工程ごとの班に分かれているが、言葉を掛け合うことにより同じ製品を作っているという一体感を感じられるようにする。 □販売数などの目標を設定し作業意欲を高める。 □毎時間の目標設定と振り返りを個別に行う。	
	販売会を振り返って	6		
12	製品会議をしよう	18	○必要な報告、相談を自ら行いながらの製品制作	
1	販売会に向けた製品作りをしよう	26	○ニーズに応じた製品作り	
2	自分にできることを探そう	22	○1年間の活動のまとめ	
3	販売会を振り返って	6	※内容同上 ◆自分の担当工程を知り責任をもって取り組む。 ◆挨拶、返事、報告、連絡、質問を、場に応じた言葉で行うことができる。 ◆みんなと協力して作業、清掃、片付けに取り組む。 ◆働く楽しさを知り、意欲をもって作業できる。 □毎時間の目標設定と振り返りを個別に行う。 □1年間で行った作業や場面が分かるように視覚的に示す。	

令和5年度東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第2学年	
教科等名	作業学習(窯業班)	グループ名	2 類型	
ねらい	(1)繰り返し行う中で挨拶、返事、報告等、働く時に必要な知識を付ける。 (2)仕事を行う上での基本的な技能や手順を理解し、丁寧に作業できる力を発揮できる。 (3)見通しを持って作業を続け、完成の喜びや協力する態度を養う。			
担当教員	○中村 薫			
年間授業時数	210 単位時間			
使用教科書	なし			
月	単元名	時数	○学習内容 ◆ねらい(評価の観点) □指導の工夫	備考
4	窯業の作業について知ろう	26	○自分の分担を理解し丁寧に製作をする力	
5	分業の製品作りに慣れよう	43	※ <ul style="list-style-type: none"> ・粘土再生・成形作業(砕き、粘土作り、型起こし) ・素焼き作業(やすり、スポンジ) ・釉薬がけ作業(釉薬選定、釉かけ) ・清掃・販売準備・販売反省 	
6				
7	製品作りを振り返って	6	◆自ら進んで日誌の記入、道具の準備等行うことができる。 ◆自分の担当工程を知り、集中して取り組める。 ◆挨拶、返事、報告、連絡、質問を、場に応じた言葉で行うことができる。 ◆みんなと協力して作業、清掃、片付けに取り組む。 □ヤスリ等での仕上げ方を指で確認し、見本を用意するなどしてわかりやすくする。 □複数で施釉にあたり、浸す時間をカウントするなどして、時間の調整をできるようにする。 □製品になるまでの充実感を感じられるようにさせる。	
9	新しい製品を作ろう	26	○周囲と言葉を掛け合い協力しての製品製作	
10			○場に応じた言葉遣いの習得	
11	文化祭に向けた製品作り	31	※内容同上 ◆自分の担当工程を知り、集中して取り組める。 ◆挨拶、返事、報告、連絡、質問を、場に応じた言葉で行うことができる。 ◆みんなと協力して作業、清掃、片付けに取り組む。	
	販売会を振り返って	6	◆次回の課題を知り、課題を解決しようとする気持ちを育む。 □工程ごとの班に分かれているが、言葉を掛け合うことにより同じ製品を作っているという一体感を感じられるようにする。 □販売会を振り返ることにより、普段の作業の先には学校の外の人とつながっていることが分かるようにする。	
12	製品会議をしよう	18	○必要な報告、相談を自ら行いながらの製品制作	
1	販売会に向けた製品作りをしよう	26	○ニーズに応じた製品作り	
2	自分にでき	22	○1年間の活動のまとめ ※内容同上 ◆自分の担当工程を知り責任をもって取り組む。 ◆挨拶、返事、報告、連絡、質問を、場に応じた言葉で行うこ	

3	ることを探 そう 販売会を振 り返って	6	とができる。 ◆みんなと協力して作業、清掃、片付けに取り組む。 ◆次回の課題を知り、課題を解決しようとする気持ちを育む。 ◆働く楽しさを知り、意欲をもって作業できる。 □定期的に担当の分担を変更し、自分に合った仕事を知り、難しい仕事も繰り返すとできるようになる体験を通じてレジリエンスをつけられるようにする。	
---	------------------------------	---	--	--

令和5年度東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第2学年	
教科等名	作業学習(窯業班)	グループ名	3類型	
ねらい	(1)挨拶・返事・報告等働く時に必要となる基本的な力を身に付ける。 (2)窯業班の基本的な技能や手順を理解し、丁寧に作業できる力を養う。 (3)自分の分担を理解し作業する集中力や体力、仲間と協力して作業する協調性や責任感を育成する。			
担当教員	○中村 薫			
年間授業時数	280 単位時間			
使用教科書	なし			
月	単元名	時数	○学習内容 ◆ねらい (評価の観点) □指導の工夫	備考
4	窯業の作業について知ろう	26	○自分の分担を理解し丁寧に製作をする力	
5	分業の製品作りに慣れよう	54	※ <ul style="list-style-type: none"> ・粘土再生・成形作業(砕き、粘土作り、型起こし) ・素焼き作業(やすり、スポンジ) ・釉薬がけ作業(釉薬選定、釉かけ)・窯入れ、窯出し作業 ・清掃・在庫管理・製品管理・販売準備・販売反省 ◆自分の担当工程を理解し、集中して取り組める。 ◆挨拶、返事、報告、連絡、質問を、場に応じた言葉で行うことができる。	
6				
7	製品作りを振り返って	6	◆自分の分担に責任をもち、みんなと協力して作業することができる。 □ヤスリ等での仕上げ方を指で確認し、見本を用意するなどしてわかりやすくする。 □定期的に確認を行い、一定の品質が把持できるようにする。 □ハウ・レン・ソウを行う場面を設定し、自主的に行えるようにする。	
9	新しい製品を作ろう	32	○周囲と言葉を掛け合い、協力しての製品製作	
10			○場に応じた言葉遣いの習得	
11	文化祭に向けた製品作り	60	※内容同上 ◆自分の担当工程を理解し、集中して取り組める。 ◆挨拶、返事、報告、連絡、質問を、場に応じた言葉で行うことができる。	
	販売会を振り返って	6	◆自分の分担に責任をもち、作業、清掃、片付けに取り組む。 ◆次回の課題を知り、課題を解決しようとする気持ちを育む。 □工程ごとの班に分かれているが、言葉を掛け合うことにより同じ製品を作っているという一体感を感じられるようにする。 □販売会を振り返ることにより、普段の作業の先には学校の外の人とつながっていることが分かるようにする。	

12	製品会議をしよう	24	○必要な報告、相談を自ら行いながらの製品制作 ○ニーズに応じた製品作り○1年間の活動のまとめ
1	販売会に向けた製品作りをしよう	32	※内容同上 ◆自分の担当工程を知り責任をもって取り組む。 ◆挨拶、返事、報告、連絡、質問を、場に応じた言葉で的確に行うことができる。
2	自分にできることを探そう	28	◆自分の分担に責任をもち、中心となって作業、清掃、片付けに取り組む。 ◆次回の課題を知り、課題を解決しようとする気持ちを育む。
3	販売会を振り返って	6	◆働く楽しさを知り、意欲をもって作業できる。 □定期的に担当の分担を変更し、自分に合った仕事を知り、難しい仕事も繰り返すとできるようになる体験を通して、レジリエンスをつけられるようにする。

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第2学年	
教科等名	作業学習(クリーンサービス班)	グループ名	1 類型	
ねらい	(1) 軽作業・洗濯作業・基礎的な清掃作業で、自分ができる仕事や得意な仕事を見付ける。 (2) 自分のペースで活動して、「できる」「楽しい」「もっとやりたい」という意欲を育む。 (3) 仲間や教員と密接な関係をもち、仲間と一緒に働く力を養う。			
担当教員	○堀田 豊			
年間授業時数	210 単位時間			
使用教科書	なし			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい(評価の観点) □指導の工夫	備考
4 5 6 7	クリーンサービス班の雰囲気を知ろう クリーンサービス班の仕事を知ろう 得意な仕事をつくろう	97	○軽作業・洗濯作業・基礎的な清掃作業 ◆基礎的な活動を体験して、クリーンサービス班の雰囲気に慣れる。 □場や教員に慣れるように、活動場所や活動内容を固定化する。 ○軽作業・洗濯作業・基礎的な清掃作業 ◆継続して仕事に取り組み、見通しをもって仕事ができるようになる。 □作業内容や活動時間は、個に応じた配慮をする。 ○軽作業・洗濯作業・基礎的な清掃作業 ◆継続して仕事に取り組み、自分でできる仕事や得意な仕事をつくる。 □興味・関心や性格等に配慮する。	
10 11 12	自分のペースで仕事をしよう	73	○軽作業・洗濯作業・基礎的な清掃作業 ◆仕事の手順を覚えて、一定時間自分のペースで仕事をする。 □興味・関心や性格等に配慮する。 □仕事への意欲や見通しがもちやすいように、仕事内容や仕事量を分かりやすく示す。	
1 2 3	仲間と一緒に仕事をしよう	40	○軽作業・洗濯作業・基礎的な清掃作業 ◆仲間や教員と関わり合いながら、小さな集団と一緒に仕事をやり遂げる。 □心地良く自然な関わり合いができるように、配置や仕事内容を工夫する。 □コミュニケーション手段やツールに配慮する。	

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第2学年	
教科等名	作業学習(クリーンサービス班)	グループ名	2類型	
ねらい	(1) 軽作業、洗濯作業、清掃作業を通して、自分ができる仕事や得意な仕事を見つけて、働く力を伸ばす。 (2) 「〇〇の仕事が好き」「□□さんと一緒に仕事をして楽しい」等、具体的なモチベーションを保ちながら、働く意欲を育む (3) 仲間と一緒に協力して働く力を養う。 (4) 挨拶・返事・報告等が、自分のスタイルでできるようになる。			
担当教員	○堀田 豊			
年間授業時数	210 単位時間			
使用教科書	なし			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい(評価の観点) □指導の工夫	備考
4 5 6 7 9	クリーンサービス班の仕事を知ろう 分担して仕事をしよう 得意な仕事をつくろう	97	○軽作業・洗濯作業・簡単な清掃作業 ◆基礎的な活動を体験して、クリーンサービス班の雰囲気や活動に慣れる。 □場や集団に慣れるように、温かい雰囲気を維持する。 ○軽作業・洗濯作業・簡単な清掃作業 ◆決まった仕事の手順を覚えて、自分のペースでやり遂げる。また、仲間と一緒にやり遂げる。 □作業内容や活動時間は、個に応じた配慮をする。 ○軽作業・洗濯作業・簡単な清掃作業 ◆正確に仕事をする。また、自分でできる仕事や得意な仕事をつくる。 □見通しと意欲をもって活動ができるように、継続性を重視する。 □興味・関心や性格等に配慮する。	
10 11 12	自分の力で仕事をしよう 仲間と一緒に仕事をしよう	73	○軽作業・洗濯作業・簡単な清掃作業 ◆準備から片付けまで、できるだけ自分の力で活動をする。 □準備と片付けができるように、活動の継続性と分かりやすさに配慮する。 □自主性を引き出すような言葉掛けや雰囲気を大切にする。 ○軽作業・洗濯作業・簡単な清掃作業 ◆ペアや小集団で、相手を意識して仕事をする。 □ペアやグルーピングに配慮する。	
1 2 3	責任をもって仕事をしよう	40	○軽作業・洗濯作業・簡単な清掃作業 ◆自信と責任をもって、決められた仕事をやり遂げる。 □意欲を最大限引き出すように、仕事内容や人間関係に配慮する。	

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第2学年	
教科等名	作業学習(クリーンサービス班)	グループ名	3類型	
ねらい	(1) 軽作業、洗濯作業、清掃作業を通して、働く意欲を養う。 (2) 挨拶・返事・報告など、働くためのコミュニケーションの力を養う。 (3) 仲間や教員に合わせて働く力を養う。			
担当教員	○堀田 豊			
年間授業時数	280 単位時間			
使用教科書	なし			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい(評価の観点) □指導の工夫	備考
4 5 6 7 9	クリーンサービス班の仕事を知ろう 身体の動かし方を身に付けよう 学校の中をきれいにしよう	129	○軽作業・洗濯作業・清掃作業 ◆基礎的な活動を体験して、クリーンサービス班の雰囲気や活動に慣れる。 □場や集団に慣れるように、温かい雰囲気を維持する。 ○軽作業・洗濯作業・清掃作業 ◆身体の動かし方や手順を正しく理解して、実践する。 □回数を重ねることで、身体の動かし方を身に付ける。 ○軽作業・洗濯作業・清掃作業 ◆決まった仕事の手順を覚えて、得意な仕事や自分でできる仕事をつくる。 □仕事が定着するように、分かりやすい手順書や配置図、廊下の印等を用意する。	
10 11 12	自分の力で仕事をしよう	92	○軽作業・洗濯作業・清掃作業 ◆準備から片付けまで、できるだけ自分の力で活動をする。 □自主的に活動ができるような言葉掛けや雰囲気を作る。	
1 2 3	責任をもって仕事をしよう	59	○軽作業・洗濯作業・清掃作業 ◆自信と意欲と責任をもって、最後まで仕事をやり遂げる。 □意欲を最大限引き出すように、受容的な支援をする。	

令和5年度東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第3学年	
教科等名	作業学習（総合キャリア班）	グループ名	1 類型	
ねらい	(1)自分達の作業が人の役に立つことを知り、働く楽しさと意欲をもつ。 (2)補助具や道具を安全に使用し、一人で作業に取り組むことができる。 (3)将来に向けていろいろな作業を経験し、できることを増やす。			
担当教員	○藤田隆之			
年間授業時数	210 単位時間			
使用教科書	なし			
月	題材名	時数	○主な学習内容◆ねらい（評価の観点） □指導の工夫	備考
4 5 6 7 8 9	新しい環境で 仕事をしよう 販売会に向け て	61 12 18	○挨拶、報告、連絡、相談などの仕方 ○基本作業（切る、折る、貼るなど） ○製品作り（収穫、袋作り、シール貼りなど） ○資源分類、他班との合同作業など ◆新しい教員や仲間を覚え、作業の流れに見通しをもつ。 ◆自分達の仕事が人の役に立っていることを知る。 ◆得意な作業や、一人でできる作業を確かなものにする。 □具体的な場面を通して挨拶や報告の仕方を練習する。 □一人ひとりの実態に合わせた教材、補助具を使用したり補助具を外したりして調整する。 □道具や部材の置き場所を視覚的に分かりやすくする。	
10 11 12 1 2	文化祭に向け て 販売会に向け て	20 29 61	○挨拶、報告、連絡、相談などの仕方 ○製品作り（袋作り、計量、シーラー止めなど） ○羽ばたき祭に向けた販売練習、袋詰め、会場準備 ○資源分類、他班との合同作業など ○ベルマーク仕分け作業 ◆文化祭に向けて準備した物が使われたり、自分達で作った製品を販売したりすることで働く楽しさや喜びを知る。 ◆製品を丁寧に扱う意識をもつ。 ◆一緒に作業をしている仲間を意識した仕事をする。 ◆得意な作業や、一人でできる作業を確かなものにする。 □販売数などの目標を設定し作業意欲を高める。 □製品作りの工程や進捗状況を視覚的に分かりやすくする。 □毎時間の目標設定と振り返りを個別に行う。	
3	次年度に向け て	9	○製品作り（袋作り、計量、シーラー止めなど） ○教材作成（ラベル、ラミネートなど） ○資源分類、他班との合同作業など ○1年間の振り返りを行う。 ◆卒業後の生活や仕事に向けて得意なことや課題について知る。 ◆感想や反省などを発表したり聞いたりすることで1年間の仕事を振り返ることができる。 □毎時間の目標設定と振り返りを個別に行う。 □1年間で行った作業や場面が分かるように視覚的に示す。	

令和5年度東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第2学年	
教科等名	作業学習（総合キャリア班）	グループ名	2 類型	
ねらい	(1)自分達の作業が人の役に立つことを知り、働く楽しさと意欲をもつ。 (2)補助具や道具を安全に使用し、一人で作業に取り組むことができる。 (3)将来に向けていろいろな作業を経験し、できることを増やす。			
担当教員	○藤田隆之			
年間授業時数	210 単位時間			
使用教科書	なし			
月	題材名	時数	○主な学習内容◆ねらい（評価の観点） □指導の工夫	備考
4 5 6 7 8 9	新しい環境で 仕事をしよう 販売会に向け て	61 12 18	○挨拶、報告、連絡、相談などの仕方 ○基本作業（切る、折る、貼るなど） ○製品作り（収穫、袋作り、シール張りなど） ○資源分類、他班との合同作業など ◆新しい教員や仲間を覚え、作業の流れに見通しをもつ。 ◆自分達の仕事が人の役に立っていることを知る。 ◆得意な作業や、一人でできる作業を確かなものにする。 □具体的な場面を通して挨拶や報告の仕方を練習する。 □一人ひとりの実態に合わせた教材、補助具を使用したり補助具を外したりして調整する。 □道具や部材の置き場所を視覚的に分かりやすくする。	
10 11 12 1 2	文化祭に向け て 販売会に向け て	20 29 61	○挨拶、報告、連絡、相談などの仕方 ○製品作り（袋作り、計量、シーラー止めなど） ○羽ばたき祭に向けた販売練習、袋詰め、会場準備 ○資源分類、他班との合同作業など ○ベルマーク仕分け作業 ◆文化祭に向けて準備した物が使われたり、自分達で作った製品を販売したりすることで働く楽しさや喜びを知る。 ◆製品を丁寧に扱う意識をもつ。 ◆一緒に作業をしている仲間を意識した仕事をする。 ◆得意な作業や、一人でできる作業を確かなものにする。 □販売数などの目標を設定し作業意欲を高める。 □製品作りの工程や進捗状況を視覚的に分かりやすくする。 □毎時間の目標設定と振り返りを個別に行う。	
3	次年度に向け て	9	○製品作り（袋作り、計量、シーラー止めなど） ○教材作成（ラベル、ラミネートなど） ○資源分類、他班との合同作業など ○1年間の振り返りを行う。 ◆卒業後の生活や仕事に向けて得意なことや課題について知る。 ◆感想や反省などを発表したり聞いたりすることで1年間の仕事を振り返ることができる。 □毎時間の目標設定と振り返りを個別に行う。 □1年間で行った作業や場面が分かるように視覚的に示す。	

令和5年度東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第2学年	
教科等名	作業学習（農園芸班）	グループ名	2 類型	
ねらい	(1) 働くために必要な基本的な心構え、態度や体力を身に付ける。 (2) 挨拶・報告・連絡・相談など、他に伝える力を養う (3) 作業工程を分担することで自分の役割を理解し、責任感を育てる。 (4) 作業で使用する道具の名称、使用法及び手入れを学ぶ。			
担当教員	○松本 憲光			
年間授業時数	210 単位時間			
使用教科書	なし			
月	単元（題材名）	指導時数	○学習内容、◆ねらい（評価の観点） □指導の工夫	備考
4 5	農園芸の作業を知ろう	45	○長靴・軍手洗い、農機具の洗浄 ◆環境を整備し、働く場所を整頓する気持ちを育てる。 ◆自分の持ち物の洗い方、扱い方を知る。 □道具の保管場所を視覚的に分かりやすくする。 ○除草、耕起、施肥 ◆農機具の使い方を知る。 □教員が見本を示し、練習できる場を多く設定する。 ○花いっぱい運動を通じた花苗の定植作業 ◆自分の作業分担を理解し、仲間と協力して土づくりを行う。 □主な農園芸作業を視覚的に分かりやすく説明する	
6 7 9	野菜（夏野菜）や草花を栽培しよう	60	○夏野菜の播種及び定植、栽培管理及び収穫作業 ◆作業の役割分担を意識し、仲間と連携し声を掛け合いながら作業を行う。 ◆収穫した野菜や作物は食品加工班に提供することで、作業に達成感や働く意欲を感じる。 □作業分担を明確にし、手順書や工程表を用いて作業をすすめる。	
10	野菜（冬野菜）や草花を栽培しよう	24	○冬野菜の播種、栽培管理 ◆作業の役割分担を意識し、仲間と連携し声を掛け合いながら作業を行う。 ◆収穫した野菜や作物は食品加工班に提供することで、作業に達成感や働く意欲を感じる。 □作業分担を明確にし、手順書や工程表を用いて作業をすすめる。	
11 12	文化祭で販売しよう	44	○販売の準備と実施 ○苔玉の製作・販売 ○ハーブ類の加工と製品の製作 ○販売に向けた野菜の収穫作業と販売準備 ◆自分たちが作った物を販売することで、働くことへの喜びややりがいを感じる。 □自分の分担や作業内容を明確にする。	

<p>1 2 3</p>	<p>次年度に向けて、農園の準備をしよう</p>	<p>37</p>	<p>○次年度の栽培に向けての畑の整備（天地返し、石灰散布、堆肥散布、畝の区画整備、腐葉土作り）</p> <p>◆一年間のまとめを行いながら、次年度に向けて栽培活動の見通しをもつ。</p> <p>□手順書や工程表を用いて作業を進める。</p> <p>○校内外を装飾する草花の栽培管理</p> <p>◆花を育てることは、校内外を装飾することであると理解することで、働く意欲を持つ。</p> <p>□栽培管理を通じて、働く理由やその意味を伝える。</p>	
----------------------	--------------------------	-----------	---	--

令和5年度東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第2学年	
教科等名	作業学習（農園芸班）	グループ名	3 類型	
ねらい	(1)働くために必要な基本的な態度や体力を身に付ける。 (2)作業工程を分担することで自分の役割を理解し、責任感を育てる。 (3)作業に必要な道具の安全な使用法と手入れを学ぶ。 (4)販売を目指した製品を作り、達成感を味わう。			
担当教員	○松本 憲光			
年間授業時数	280 単位時間			
使用教科書	なし			
月	題材名	時数	○主な学習内容◆ねらい（評価の観点）□指導の工夫	備考
4 5	農園芸の作業 を知ろう	46	○農園芸作業の準備や片づけの手順○長靴・軍手洗い ◆環境を整備し、働く場所を整頓する気持ちを育てる。 ◆自分の持ち物の洗い方、扱い方を知る。 □教員が見本を示し、その後、自ら取り組める場を設定する。 ○耕起、施肥、畝作り、播種及び定植作業 ○花いっぱい運動を通じた花苗の定植作業 ◆道具の使い方と仕事の段取りを覚える。 ◆作業分担を理解し、仲間と協力して作業を行う。 □教員が見本を示し、練習できる場を多く設定する。 □視覚的に分かりやすい教材を用意する。	
6 7 9	野菜（夏野菜） や草花を栽培 しよう	80	○夏野菜の栽培管理（施肥作業、摘心・摘果作業） ○夏野菜の収穫及び調製作業○販売準備（袋詰めなど）レジスターの操作○圃場の環境整備○校内の植栽管理 ◆作業の役割分担を意識し、仲間と連携し言葉を掛け合いながら作業を行う。 ◆作業の中での自分の役割を意識し、使命感を感じる。 □グループ内で主体的に活動できるように視覚的に分かりやすい説明と教材を用意する。 □グループ内で主体的に活動できるように視覚的に分かりやすい説明と教材を用意する。	
10	野菜（冬野菜） や草花を栽培 しよう	29	○冬野菜栽培に向けた畑の準備、播種、定植作業及び栽培管理（施肥作業、間引き） ○学校内外の植栽管理（花卉球根の定植、植栽計画） ◆作業の役割分担を意識し、仲間と連携し言葉を掛け合いながら作業を行う。 ◆作業の中での自分の役割を意識し、使命感を感じる。 □グループ内で主体的に活動できるように視覚的に分かりやすい説明と教材を用意する。 □グループ内で主体的に活動できるように視覚的に分かりやすい説明と教材を用意する。	

11 12	文化祭で販売 しよう	50	<ul style="list-style-type: none"> ○販売に向けた野菜の収穫と調製作業及び販売準備 ○苔玉の製作・販売 ○ハーブ製品の加工と製品準備 ○販売計画と準備（値札作り・レジスターの操作） ◆自分たちが作った物を販売することで、達成感を感じる。 □教員が見本を示すことにより、少し高度な販売活動を経験する場を作る。 	
1 2 3	次年度に向けて、農園の準備をしよう	75	<ul style="list-style-type: none"> ○次年度の栽培に向けての畑の整備（天地返し、石灰散布、堆肥散布、畝の区画整備） ○腐葉土作り ○次年度に向けての栽培計画の立案 ◆一年間のまとめを行いながら、次年度に向けて栽培活動の見通しをもつ。 □グループ内で主体的に活動できるように視覚的に分かりやすい説明と教材を用意する。 ○校内外を装飾する草花の栽培管理 ◆花を育てることは、校内外を装飾することであると理解することで、働く意欲を持つ。 □栽培管理を通じて、働く理由やその意味を伝える。 	

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第2学年	
教科等名	作業学習（ハンドクラフト班）	グループ名	2類型	
ねらい	(1) 作業工程を理解し、分業化された自分の作業を正確に行う。 (2) 挨拶や返答・報告・質問・連絡を確実に行う。 (3) 製品を作る楽しさや達成感を味わい、働く意欲をもつ。			
担当教員	○ 植松千絵			
年間授業時数	210 単位時間			
使用教科書	なし			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい（評価の観点） □指導の工夫	備考
4 5	ハンドクラフト班の作業を知ろう	40	○活動の理解 〔製品名：ふきん、ヘアアクセサリ、コースターなど〕 ◆作業の流れを知り見通しをもつことができる。 ◆一定時間、作業に集中できる。 □見通しをもって活動に取り組めるように作業フローチャートを使用する。 ○用具の基本的な扱い方の習得 ◆用具を安全に正しく扱うことができる。 □用具の使用方法の動画の視聴を行う。 ○身支度の整え方の理解 ◆規定通りに身支度を整えることができる。 □身支度の確認の際には、姿見を使用し点検表をもとにダブルチェックを行う。 ◆挨拶・返答・報告・質問・連絡・相談等を確実に行うことができる。 □朝礼時にコミュニケーションについての重点目標の設定を行う。	感染症対策を行う。
6 7	校内販売会に向けて製品を作ろう（夏祭り）	40	○分業化された自身の作業工程の理解 〔製品名：ふきん、ヘアアクセサリ、ハンカチなど〕 ◆作業に集中し、正確な製品を製作できる。 □製品品質点検表・良品・不良品を提示し、注意点を確認する。	
9	校内販売会に向けて製品を作ろう（羽ばたき祭）	30	○分業化された作業工程の習得 〔製品名：ふきん、ヘアアクセサリ、コースター、ストラップ、ミニツリーなど、他作業班とのコラボレーション製品〕 ◆目標を意識し、協力して作業に取り組むことができる。 □個人・班の生産目標をたて、達成に向けて作業に取り組むことができる。	
10 11 12	羽ばたき祭・地域販売会に向けて、製品を作り、地域交流を深めよう（ふれあい	100	○羽ばたき祭準備・評価 ◆羽ばたき祭の自己の役割を理解し、目標を設定し評価を行うことができる。 □見通しがもてるように、目標と評価を行う際には昨年度と今年度の羽ばたき祭の記録を視聴する。	

	祭り、羽ばたき祭)			
1 2 3	地域販売会 に向けて製 品を作ろう (ショッピングモール など) 年間の振り 返りをしよ う	70	<p>○販売目的の理解</p> <p>◆地域販売会のイメージをもち、正確な製品を製作することができる。</p> <p>◆自身の工程の準備から片付けまでを一人で行うことができる。</p> <p>□班長から製品点検・活動について評価を受ける。</p> <p>○1年間の活動のまとめ</p> <p>◆1年間の目標の評価を行うことができる。</p> <p>□目標設定と評価を行う際には、年間の記録の視聴をする。</p>	

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第2学年	
教科等名	作業学習（ハンドクラフト班）	グループ名	3類型	
ねらい	(1) 作業工程を理解し、分業化された自分の作業を正確に行う。 (2) 挨拶や返答・報告・質問・連絡を主体的に行う態度を養う。 (3) 製品を作る楽しさや達成感を味わい、働く意欲を高める。			
担当教員	○ 植松 千絵			
年間授業時数	280 単位時間			
使用教科書	なし			
月	題材名	時数	○主な学習内容 ◆ねらい（評価の観点） □指導の工夫	備考
4 5	ハンドクラフト班の作業を知ろう	40	○活動の理解 〔製品名：ふきん、ヘアアクセサリ、コースターなど〕 ○身支度、作業日誌の記入、清掃等の活動の実践 ◆作業の流れを知り見通しをもつことができる。 ◆一定時間、作業に集中できる。 ◆挨拶・返答・報告・質問・連絡・相談等を行うことができる。 □身支度の確認の際には、ダブルチェックを行う。 ○用具の基本的な扱い方の習得 ◆用具を安全に正しく扱うことができる。 □用具の使用方法の動画の視聴を行う。	感染症対策を行う。
6 7	校内販売会に向けて製品を作ろう（夏祭り）	40	○分業化した作業工程の習得 〔製品名：ふきん、ヘアアクセサリ、ハンカチなど〕 ◆正確な製品製作を意識しながら、作業に取り組むことができる。 □良品・不良品を提示し、注意点を確認する。	
9	校内販売会に向けて製品を作ろう（羽ばたき祭）	30	○分業化した作業工程に応じた作業活動と協力 〔製品名：ふきん、ヘアアクセサリ、コースター、箸入れ、ストラップ、マスク、ミニツリーなど、他作業班とのコラボレーション製品〕 ◆目標を意識し、協力して作業に取り組むことができる。 □個人・班の生産目標をたて、達成に向けて作業に取り組むことができる。	
10 11 12	羽ばたき祭・地域販売会に向けて、製品を作り、地域交流を深めよう（ふれあい祭り、都西風フェア、羽ばたき祭）	100	○羽ばたき祭準備・評価 ◆羽ばたき祭の自己の役割を意識し、準備・評価を行うことができる。 ◆ハンドクラフト班全体の目標を意識し、評価を行うことができる。 □見通しがもてるように、昨年度の羽ばたき祭の記録を視聴する。	
1 2 3	地域販売会に向けて製品を作ろう	70	○販売目的の理解 ◆地域販売会のイメージをもち、正確な製品を製作することができる。	

	<p>(ショッピングモールなど) 年間の振り返りをしよう</p>	<p>◆自身の担った工程について、準備から片付けまでを一人で行うことができる。 <input type="checkbox"/>自身が担った活動について、班長から評価を受ける。 <input type="radio"/>1年間の活動のまとめ ◆1年間の目標の到達点や課題点を振り返ることができる。 <input type="checkbox"/>年間の記録の視聴を行った上で、評価を行う。</p>	
--	--------------------------------------	--	--

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第2学年	
教科等名	作業学習(木材加工班)	グループ名	2類型	
ねらい	(1) 挨拶・返事・報告等働く時に必要となる基本的な力を身に付ける。 (2) 自分の分担を理解し、仲間と協力して責任感、集中力や持続力を育成する。 (3) 木材加工班の基本的な技能や手順を理解し、正確に作業できる力を養う。			
担当教員	○橋本 哲朗			
年間授業時数	210 単位時間			
使用教科書	なし			
月	題材名	時数	○主な学習内容◆ねらい(評価の観点) □指導の工夫	備考
4 5 6 7 9	販売会に向けての 製品作り (テーブルの製作) (ペンスタンドの製作) (ペン立ての製作) (ミニトレイの製作) (スマホスタンド製作) (A4木箱の製作)等	70	○自分の分担や生産ラインの理解と木工製品の製作 ・木材切出し→部品加工→組立→仕上げを分業化 ・生産ラインでの製作工程を配置 ◆働くことの意義を理解し、作業に取り組み、働く喜びを味わうことができる。 ◆道具や機械の操作に慣れるとともに、材料や製品の扱い方を身に付け、安全や衛生に気を付けながら作業をすることができる。 ◆自分の分担に責任をもち、他の者と協力して作業をすることができる。 □5Sの徹底を徹底する。	
10 11 12	文化祭に向けての 製品作り (テーブルの製作) (ペンスタンドの製作) (ペン立ての製作) (ミニトレイの製作) (スマホスタンド製作) (A4木箱の製作)等	86	○自分の分担する工程の精度を上げる意識 ・木材切出し→部品加工→組立→仕上げを分業化 ・生産ラインでの製作工程を配置 ◆働くことの意義を理解し、作業に取り組み、働く喜びを味わうことができる。 ◆道具や機械の操作に慣れるとともに、材料や製品の扱い方を身に付け、安全や衛生に気を付けながら作業をすることができる。 ◆自分の分担に責任をもち、他の者と協力して作業をすることができる。 □5Sの徹底を徹底する。	
1 2 3	販売会に向けての 製品作り (テーブルの製作) (ペンスタンドの製作) (ペン立ての製作) (ミニトレイの製作) (スマホスタンド製作) (A4木箱の製作)等	54	○作業スピードを上げる 正確 精度 ・木材切出し→部品加工→組立→仕上げを分業化 ・生産ラインでの製作工程を配置 ◆働くことの意義を理解し、作業に取り組み、働く喜びを味わうことができる。 ◆道具や機械の操作に慣れるとともに、材料や製品の扱い方を身に付け、安全や衛生に気を付けながら作業をすることができる。 ◆自分の分担に責任をもち、他の者と協力して作業をすることができる。 □5Sの徹底を徹底する。	

令和5年度 東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第2学年	
教科等名	作業学習(木材加工班)	グループ名	3類型	
ねらい	(1) 挨拶・返事・報告等働く時に必要となる基本的な力を身に付ける。 (2) 自分の分担を理解し、仲間と協力して責任感、集中力や持続力を育成する。 (3) 木材加工班の基本的な技能や手順を理解し、正確に作業できる力を養う。 (4) 立った姿勢で作業をすることにより、働くための体力を付ける。 (5) 機械や工具の操作法を習得し、安全に配慮して作業する態度を養う。			
担当教員	○橋本哲朗			
年間授業時数	280 単位時間			
使用教科書	なし			
月	題材名	時数	○主な学習内容◆ねらい(評価の観点) □指導の工夫	備考
4 5 6 7 9	販売会に向けての 製品作り (テーブルの製作) (ペンスタンドの製作) (ペン立ての製作) (ミニトレの製作) (スマホスタンド製作) (A4木箱の製作)等	92	○自分の分担や生産ラインの理解と木工製品の製作 ・木材切出し→部品加工→組立→仕上げを分業化 ・生産ラインでの製作工程を配置 ◆働くことの意義を理解し、作業に取り組み、働く喜びを味わうことができる。 ◆道具や機械の操作に慣れるとともに、材料や製品の扱い方を身に付け、安全や衛生に気を付けながら作業をすることができる。 ◆自分の分担に責任をもち、他の者と協力して作業をすることができる。 □5Sの徹底を徹底する。 □KYT(危険予知トレーニング)を徹底する。	
10 11 12	文化祭に向けての 製品作り (テーブルの製作) (ペンスタンドの製作) (ペン立ての製作) (ミニトレの製作) (スマホスタンド製作) (A4木箱の製作)等	118	○自分の分担する工程の精度を上げることの意識 ・木材切出し→部品加工→組立→仕上げを分業化 ・生産ラインでの製作工程を配置 ◆働くことの意義を理解し、作業に取り組み、働く喜びを味わうことができる。 ◆道具や機械の操作に慣れるとともに、材料や製品の扱い方を身に付け、安全や衛生に気を付けながら作業をすることができる。 ◆自分の分担に責任をもち、他の者と協力して作業をすることができる。 □5Sの徹底を徹底する。 □KYT(危険予知トレーニング)を徹底する。	
1 2 3	販売会に向けての 製品作り (テーブルの製作) (ペンスタンドの製作) (ペン立ての製作) (ミニトレの製作) (スマホスタンド製作) (A4木箱の製作)等	70	○作業スピードを上げる 正確 精度 ・木材切出し→部品加工→組立→仕上げを分業化 ・生産ラインでの製作工程を配置 ◆働くことの意義を理解し、作業に取り組み、働く喜びを味わうことができる。 ◆道具や機械の操作に慣れるとともに、材料や製品の扱い方を身に付け、安全や衛生に気を付けながら作業をすることができる。 ◆自分の分担に責任をもち、他の者と協力して作業をすることができる。 □5Sの徹底を徹底する。 □KYT(危険予知トレーニング)を徹底する。	

令和5年度東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第2学年	
教科等名	作業学習（食品加工）	グループ名	2類型	
ねらい	(1) 道具の扱いや衛生管理について適切な方法を学ぶ。 (2) 返事、確認、報告の仕方を覚え、必要なタイミングで自発的に行動できるようにする。 (3) 持続力を中心とした必要な態度を身に付ける。 (3) 情緒の安定を図り、作業を行う。			
担当教員	○阪下 香奈			
年間授業時数	210 単位時間			
使用教科書	なし			
月	題材名	時数	○主な学習内容、◆ねらい（評価の観点）、□指導の工夫	備考
4 5 6 7	食品加工班の仕事を知らう 食品加工班の仕事に慣れよう	70	○作業学習や食品加工班の作業内容について知る。 ○製品作り（パン・焼き菓子）の流れについて知る。 ○目標記入方法を覚える。 ◆道具の扱い方や作り方、衛生管理について理解し、作業に大まかな見通しをもつ。 ○調理道具の安全な使い方について知る。 ○手洗い、洗浄方法、食品の扱い方について覚える。 ○パンや焼き菓子の作り方、必要な道具について知る。 ○接客用語や販売の流れについて知る。 ◆必要な材料や道具について理解する。 ◆一連の接客の流れを理解する。 □写真や動画を使用し、視覚的支援をしながら取り組めるようにする。 □日誌の記入方法を説明し、目標記入の仕方も伝える。作業前には記入する時間を設定し、確実に取り組めるようにする。 □製品作りは、教員と行き、1つ1つの工程を確認しながら繰り返し行う。 □手洗い、洗浄方法、食品や道具の取り扱いを繰り返し行う中で、正しく実施できていることを都度評価し、確実にできるようにする。	
9 10 11 12	販売に向けて製品を作ろう 文化祭に向けて製品を作ろう 販売に慣れよう	86	○作業の流れ、分担について覚える。 ○販売する製品（パン・焼き菓子）の製造 計量→分割→丸め→成形→袋詰めの流れを知る。 ◆作業工程を分業化し作業台ごとに担当したものを作る。 ○具や次回分の材料の仕込み方法を知る。 ◆丁寧に正確な計量を知る。 ◆返事や報告ができるようになる。 ○接客用語や販売の流れについて覚える ○袋詰め、接客の経験をする。 ◆挨拶の仕方について意欲的に取り組む。 □手順書を使用し、使用道具や材料、手順を確認をしな	

			<p>がら取り組めるようにする。</p> <p><input type="checkbox"/> 1日の作業の流れ、担当を明確にし、見通しをもって取り組むことができるようにする。</p> <p><input type="checkbox"/> 報告をするタイミングを毎回伝え、都度評価をしながら確実にできるようにする。</p> <p><input type="checkbox"/> 販売の模擬練習をする時間を設定し、必要に応じてサポートをしながら正しくできるようにする。</p>	
1 2 3	販売に向けて製品を作ろう 技術を高めよう	54	<p>○作業の流れ、分担について覚える。</p> <p>○販売する製品（パン・焼き菓子）の製造 計量→分割→丸め→成形→袋詰めの流れを知り、安定して仕事に取り組む。</p> <p>◆作業工程を分業化し、作業台ごとに担当したものを作る。</p> <p>◆確実に正確にできるように、必要に応じてサポートしながら作業を進められるようになる。</p> <p>◆繰り返し練習することで身に付けられるようにする。</p> <p><input type="checkbox"/> 1つの商品製造を繰り返し行い、自信をもって取り組むことができるようにする。</p> <p><input type="checkbox"/> 作業前に製造時気をつける点を確認する。製造時正しい行動に対しては評価をし、できることを増やしていく。</p> <p><input type="checkbox"/> 製造した完成品を実際に見てもらい、振り返りをしてながら次回へ生かす。</p>	

令和5年度東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第2学年	
教科等名	作業学習（食品加工）	グループ名	3類型	
ねらい	(1)道具の扱いや衛生管理について適切な方法を学ぶ。 (2)返事、確認、報告、協力、持続力など職業生活に必要な態度を身に付け、自発的に取り組めるようにする。 (3)情緒の安定を図り仲間や教員とのやりとりの中で対人関係を学ぶ。			
担当教員	○阪下 香奈			
年間授業時数	280 単位時間			
使用教科書	なし			
月	題材名	時数	○主な学習内容、◆ねらい（評価の観点）、□指導の工夫	備考
4 5 6 7	食品加工班の仕事を知らう 食品加工班の事に慣れよう	92	○作業学習や食品加工班の作業内容について知る。 ○製品作り（パン・焼き菓子）の流れについて知る。 ○目標の設定について覚え、正しく記入する。 ◆道具の扱い方や作り方、衛生管理について理解し、作業に大まかな見通しをもつ。 ○調理道具の安全な使い方について覚える。 ○手洗い、洗浄方法、食品の扱い方について覚える。 ○パンや焼き菓子の作り方、必要な道具について知る。 ○接客用語や販売の流れについて知る。 ◆必要な材料や道具、作り方について理解する。 ◆一連の接客の流れを理解する。 □製品作り前に写真やスライド、動画を使用し、イメージをもって取り組めるようにする。 □作業前に日誌を記入し、目標を明確にしてから取り組むようにする。 □手洗い、洗浄方法、食品・道具の取り扱いにおいて繰り返し練習をし、手順及び注意点を覚える。	
9 10 11 12	販売に向けて製品を作らう 文化祭に向けて製品を作らう 販売に慣れよう	118	○作業の流れ、分担について覚える。 ○販売する製品（パン・焼き菓子）の製造計量→分割→丸め→成形→袋詰めの流れを覚え、正しい手順で行う。 ◆作業工程を分業化し作業台ごとに担当したものを責任をもって作る。 ○具や次回分の材料の仕込み方法を覚える。 ◆丁寧で正確な計量ができるようになる。 ◆返事や報告をする姿勢を身に付け、分からない時は相談することができるようになる。 ○接客用語や販売の流れについて知り、実践をする。 ○袋詰め、レジ、接客を経験をする。 ◆挨拶やレジの使い方、お金の渡し方などについて意欲的に取り組む。 □手順書を使用し、使用道具や材料、手順を確認をしながら取り組めるようにする。 □報告をするタイミングを明確にし、都度手順や進捗状	

			<p>況を確認ができるようにする。</p> <p>□衛生、安全、確認、報告、協力が必要なタイミングや重要性を作業の中で説明する。意識して行動をしている時には評価をし、意識づけをする。</p> <p>□接客用語の説明、販売の模擬練習をする時間を設定し、自信をもって本番に臨めるようにする。</p>	
1 2 3	販売に向けて製品を作ろう 技術を高めよう	70	<p>○作業の流れ、分担について覚える。</p> <p>○販売する製品（パン・焼き菓子）の製造計量→分割→丸め→成形→袋詰めの流れを覚え、正しい手順で行う。</p> <p>○販売に向け質の高い製品の開発をする。</p> <p>○接客用語を用いりながら、丁寧な接客を実践する。</p> <p>◆作業工程を分業化し作業台ごとに担当したものを責任をもって作る。</p> <p>◆確実に正確にできるように、指示を理解した上で作業を進められるようになる。</p> <p>◆繰り返し練習することで身に付けられるようにする。</p> <p>□繰り返し練習をする中で、必要に応じて言葉掛けをし、質が高い商品の製造や接客ができるようにする。</p> <p>□製造したいパンや焼き菓子を生徒に確認し、担当をしてもらう。事前に完成基準、製造時気をつける点を確認し、最後まで責任をもって取り組めるようにする。</p> <p>□販売の目標を明確にし、終了後は振り返りをする時間を設定し、次回へ生かす。</p>	

令和5年度東京都立羽村特別支援学校年間指導計画

学 部	高等部	学 年	第2学年	
教科等名	作業学習(オフィスワーク班)	グループ名	3類型	
ねらい	(1)働くために必要な基本的な態度や技術を身に付ける。 (2)仲間と協力し、責任感をもって仕事に取り組むことの大切さを学ぶ。 (3)長時間作業に取り組める体力と集中力・持続力を身に付ける。			
担当教員	○高橋 義弘			
年間授業時数	280 単位時間			
使用教科書	なし			
月	単元(題材)名	時数	○学習内容、◆ねらい(評価の観点) □指導の工夫	備考
4 5 6 7	オリエンテーション 依頼書を基に仕事をしよう	94	○作業学習や作業態度について ◆将来に向けて作業学習で身につけたい力を考える。 ◆作業する上でのマナーや態度を知る。 □練習を繰り返し、態度と技術を身に付ける。 □業務報告書で目標を立てて振り返りを行う。 ○受注作業 印刷、封入、丁合、配布など ◆依頼書を基に仕事を分析し、工程表を作成する。 ◆お客様のために品質を意識した仕事をする。 ◆お客様とのコミュニケーションを経験する。 □道具やプリントなど視覚的に分かりやすくし整理しやすくする。 □納品等を一人でできるようにする。 □上級生と仕事を行う機会を設ける。	
9 10 11 12	依頼書を基に仕事をしよう 文化祭でお店をしよう	121	○受注作業 印刷、封入、丁合、配布など ◆依頼書を基に仕事を分析し、工程表を作成する。 ◆お客様を意識し、品質を意識した仕事をする。 ◆お客様とのコミュニケーションを経験する。 □製品の良否を分かりやすくし、ミスをしづらい環境を整える。 ○ラベル屋の企画、運営、評価 ◆お客様のことを考えて立案する。 ◆効率の良い運営を考える。 □自分たちで運営を考えられるように話し合う時間を設定する。	
1 2 3	1年間のまとめと振り返り	65	○受注作業 印刷、封入、丁合、配布など ◆依頼書を基に仕事を分析し、工程表を作成する。 ◆お客様のために品質を意識した仕事をする。 ◆お客様とのコミュニケーションを経験する。 □2年生だけでペアになり仕事をする。 □納品等を一人でできるようにする。 ○1年間の振り返りを行う。 ◆卒業後の生活と就労を意識して作業に取り組む。	

			<input type="checkbox"/> 1年間で行った作業や場面が分かるように視覚的に示す。	
--	--	--	---	--